

平塚市行政改革推進委員会（事業評価）の結果について

区分	事業 2		
事業名	資源再生物収集運搬事業	所管課	環境施設課
評価結果	事業内容の見直し		
評価内訳	現行どおり	事業内容の見直し	国・県
	1	4	0
傍聴者数	21	ネット中継 視聴者数	3

※「傍聴者数」「視聴者数」は、開始後 10 分経過時点の状況を記載しています。

事業評価シートの記載内容

委員長	評価結果・視点	「廃止」 - 「手段が目的化している」「自助努力・民間で実施するべき」
<ul style="list-style-type: none"> 他市で平塚方式を採用してなくてもマネジメントが回っている現実を目の当たりにすると、どうしてもこの方式がマストの方法であるかの疑問を持たざるを得ない。 自主回収や指名競争入札ないしは、随意契約の方策も検討すべき。現時点では、所管自体が事業評価を抜本的に行っていないところに最大の課題があると同時に、この問題の解決の糸口を不鮮明なものにしているように考える。一度ゼロベースから考えるべき。 		
副委員長	評価結果・視点	「現行どおり」
<ul style="list-style-type: none"> 組合の運営状況について、カルテルにならないように確認する仕組みが必要。又（業者との関係から）事業所管担当もある程度ローテーションした方がよい。 		
A委員	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「その他（自治会への買上代金の単価の見直しをすべき）」
<ul style="list-style-type: none"> 資源回収組合への交付金の算定について、市側がイニシアティブをとって進めていってほしい。組合の決算書及び元帳を精査し、支出の部分についても不要・不適切なものがないか検証を実施してほしい。 		
B委員	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「その他（交付金から委託に切り替えるべき）」
<ul style="list-style-type: none"> 資源回収組合へ委託するのが、理解や説明が容易で良いのではないか。 		
C委員	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「その他（交付金額の再検討、業者選定方式の確認）」
<ul style="list-style-type: none"> 自治会、町内会への交付金に関して、キロ当たりの単価は慎重に考えつつ、妥当か再検討の必要があると思う。 業者選定は、現行方式で適切か、競争性がとられているか、確認が必要ではないか。 		
D委員	評価結果・視点	「事業内容の見直し」 - 「担い手」 - 「アウトソーシングするべき」
<ul style="list-style-type: none"> 自治会が分別をしているのだから各ブロック、曜日ごとに全量回収は、一業者でも可能なのではないだろうか。組合に任せるのではなく、適正に入札をして公平な業者回収にすべき。業者の大小があつて、差はつくかもしれないが、それは個々の努力で請け負う業者の問題。組合に任せて利益を分配するのは違法ではないだろうか。 		